

## ブロッコリーでもっと頑張りたいプラン

### ～製氷機導入による氷詰出荷でブロッコリー長期出荷プラン～

事業実施主体名	JA 鳥取中央ブロッコリー生産部	住 所	琴浦町
プラン認定日	平成23年1月26日	プラン期間	平成23年～平成25年

## 1 プラン内容

### (1) 概要

現在の出荷方法である「段ボール予冷出荷」では、高温期である4月～11月には量販店に到着した時点で段ボール内の温度が高くなり死花・腐れが発生し市場評価を大きく落としている。品種試験、施肥管理技術及び製氷機導入により氷詰め出荷を実施することで出荷品質を改善し他産地以上の市場評価を得るとともに生産者の所得向上を図る。

### (2) 取り組みポイント

- 品質向上と長期安定出荷でブランド化を目指す
- 製氷機導入による氷詰出荷で売れるブロッコリーを販売する。

### (3) 事業の概要

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H23	貯氷庫2台、製氷機2台、冷凍機2台	13,970	4,656	2,328
合 計		13,970	4,656	2,328

## 2 プラン実施状況

### (1) 労働力、経営内容

	認 定 時 (H22)	現 状 (H24)
労働力(雇用)	85戸	80戸
経営内容・規模	85ha	100ha

(2) 成果

・プラン目標に対する実績

主な取り組み内容		実績			
		現状	1年目	2年目	3年目
		H22	H23	H24	H25
栽培面積(ha)	目標		87	88	90
	実績	85	94	100	
			(108.0%)	(113.6%)	
出荷量(5kg/箱) H24から6kgへ変更	目標		154200	156000	159400
	実績	131000	100168	130866	
			(65.0%)	(83.9%)	
販売単価(円/kg)	目標		380	390	400
	実績	345	398	361	
			(104.7%)	(92.6%)	
販売額(千円)	目標		292980	304200	318800
	実績	225767	199601	283901	
			(68.1%)	(93.3%)	

・6月、10月気温の高い時期のクレームが減少し、市場からの信用が高まった。

・地域への波及効果

近隣の町で製氷機を導入する生産者が現れるなど、波及効果をもたらしている。

・更なる経営発展方向

平成24年度には地域プランを策定し、規模拡大のために中耕、土寄せを効率的に行う取組として乗用管理機7台の導入を計画している。



[中部総合事務所農林局]